

U Aゼンセン S S U A  
大塚家具 I D C ユニオン

第 3 4 回定期総会  
報告・議案書

2 0 2 2 . 1 1 . 1 6

株式会社ヤマダデンキ  
大塚家具事業部 第2研修室

私たち大塚家具 I D Cユニオンは組合員の生活向上と  
会社の成長発展をはかるために次の理念に基づき組合  
運営を行います。

## 理 念

1. 私たちは、お客様第一をモットーに生産性向上に努め、  
会社の根本理念・経営方針を具現化し会社の永続的な  
発展を期します。
1. 私たちは、組合員の生活環境をより豊かにするため、  
福利厚生の実施と勤務条件の維持改善に努めます。
1. 私たちは、組合員が共に喜びを分かち合える強い信頼の  
輪を広げるために、健全なコミュニケーションの場をつく  
ります。
1. 私たちは、家具インテリア産業にたずさわる者として、  
消費者サービス、流通業の向上と社会的責任を自覚し  
て、自己啓発の推進に努めます。
1. 私たちは、「大塚家具 I D Cユニオン」の理念と組織を  
守るため、特定の偏った考え方を排除します。

## “第34期を迎えるにあたって”

執行委員長 砂岡 誉



組合員の皆様には、ユニオンの様々な取り組みに対してご参加ご参画をいただき有難うございました。本日「大塚家具 IDC ユニオン第34回定期総会」を迎えることができたのも、組合員の皆様のお力はもとより会社側のご理解と組合OBの諸先輩方、UAゼンセンならびに専門店ユニオン連合会の皆様のご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

今期においても、2020年春以降拡大した新型コロナウイルス感染症は我が国の社会経済活動に大きな影響を与えてきました。私達が働く大塚家具においても、2022年6月下旬からの変異種による第7波流行の際には、業務への支障が危ぶまれる程の感染者・濃厚接触者が確認されました。罹患された方々にはお見舞いを申し上げますと共に、感染リスクを負いつつ日々の業務に励んでこられた組合員の皆様に敬意を表します。

現在、国でのコロナ政策としては、行動制限を行わず重症化リスクのある高齢者等を守ることに重点を置くことで、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る方向へと舵をきりました。今後は、今まで以上に自分が置かれた環境のなかで、感染防止対策を自らが判断することが大切なかもしれません。

### 第33期を振り返って

2022年5月、株式会社大塚家具（以下、「大塚家具」という）は、家具・インテリアと家電を合わせた「くらしをシアワセにする、ぜんぶ」のコンセプトのもと、株式会社ヤマダデンキ（以下、「ヤマダデンキ」という）に吸収合併されました。

大塚家具の事業は、ヤマダデンキ内に大塚家具事業部を設置することで継続することとなり、全従業員がヤマダデンキに引き継がれました。このことにより、営業面では相互連携による家具・インテリアと家電を合わせた提案による業績拡大を、財政面では財政の安定化、各事務作業の合理化と経費の削減が見込めることとなりました。

全ての会社に歴史があり、歴史が企業文化を創ります。思想や企業文化が異なることは当然であり、異なるからこそ新たな可能性が開けると考えております。ユニオンでは、お互いの良いところが活かされる合併となるよう、現場で起こっている様々な課題を事業部と共有し対応を図ってきました。

組合員皆様の生活を豊かにする取組みとして、第26回参議院議員選挙での「かわいたかのり」への支援活動に取り組みました。組合員皆様の支援により、流通産業で働く者の代表者として、参議院議員を3名とすることができました。私たちの目的は、選挙に当選させることではなく、私たちの声を政策に反映させることです。政治は身近なものであることを実感していただけるよう、彼らの活動を報告していきます。

### 第34期の活動について

現在、ロシアによるウクライナ侵攻や欧米との金融政策の違いにより、我が国の経済状況に大きな変化をもたらしています。1つはエネルギーや食糧の物価上昇であり、2022度の物価上昇の見通しは前年度比2.6%（内閣府調べ）となっています。もう1つは、欧米で実施されている金利の引き上げにより1990年以降では最安値を更新した円安問題です。このような不安定な経済状況のなか、当社の業績や従業員の皆様の生活への影響に注視し、変化に対して即応できる体制を整えて行きます。

また、当社では2023年3月までを期限とし、勤怠・給与関係の調整を進めています。異なる制度のなか、互いの制度を深く理解し、月間・年間・退職されるまでの期間を相対的に調整できるよう取組みます。今まで以上に、組合員の皆様からの声と情報共有が必要と考えています。

この調整により、ヤマダデンキとして制度面での統一が完了します。簡単ではないと思いますが、互いの優れた点が融合されより高いシナジー効果が発揮されることを期待しています。

組合においても、双方の組合員が一体となり、より強固な組織となるようヤマダホールディングスユニオンとの合同を目指して協議を進めていきます。



副執行委員長  
**齋竹 耕**  
(名古屋栄SR支部)

今年も、いろいろありましたが、何とか無事に一年を過ごすことができました。かなりの仲間が減ってしまったので、皆様多忙を極めていることと思います。ラストスパートで自分の持てる力をどれだけ発揮できるかが今までの積み重ねです。がんばっている仲間を見ていると、こちらも力が湧いてきます！

戦略を立てた上で、これからの私達のあり方を、そこから組み上げないといけません。いちばん良いものが何であるのか、優先順位を決めるのは、難しい課題です。かなりシビアな交渉にもなるかもしれませんが…

ちゃんと言うべきこと、伝えるべきことを、しっかりと見定めていきたいです。と言っても、今私にできることは、応援する事ぐらいかもしれません。ルールを敷き、エールを送れるよう、今後も邁進して参ります。未だ先は見通すことはできませんが、もうひとがんばりしていきましょう！

来期は、ここにいて良かった！と皆で笑える一年にしたいです



副執行委員長  
**大森 章悟**  
(福岡SR支部)

日々の組合活動へご協力いただきありがとうございます。この1年、コロナウイルスの脅威をより身近に感じることも多くあり、私自身も会議に参加できなかつたりと思うような活動ができませんでした。

会社は吸収合併という大きな変化を迎え、日々変化する業務内容、職場環境に不安を感じている方も多いと思います。春以降のことは現時点ではわかりませんが、大塚家具事業部として今が非常に大切な時期だということは間違いありません。

大塚家具で働くこのメンバーだからこそ、いい環境で仕事ができるよう執行部メンバーで交渉に取り組んでまいります。不安なことがあればいつでもご相談ください。変化は必要だと思いますが、大塚家具の良いところは継続し、私たち一人ひとりが、ヤマダデンキの大塚家具で働いていることを胸を張って言えるような環境を一緒につくっていきましょう。



書記長  
**田村 達也**  
(大阪南港SR支部)

皆さん日々の業務に加えユニオンの活動にご尽力いただきありがとうございます。本年5月にはヤマダデンキへの吸収合併という経験をし、皆さんには今後の動向においてご心配をお掛けしているかと思いますが、ユニオン執行部一同、より良い労働環境を整えられるよう取組んでおりますので、引続いてのご理解とご協力の程よろしくお願い致します。

現在の会社の状況は上向いてきておりますが、われわれの日々の業務は忙しくなっており、一人当たりの業務の負担は増えていく一方です。しかし、労働条件はなかなか上向かないのが現状です。そんな中でも前向きなマインドを持ち続け、今いる仲間と共に盛り上げ頑張っていきましょう。苦境に直面した際、いかに立ち向かうかが大切です。また我々の周りにはたくさんの仲間がいます。仲間を信じ共に助け合いながらいろいろな局面を乗り越えていきましょう！



執行委員  
**津久間雄太**  
(本部支部)

お疲れ様です。本部支部の津久間です。コロナ禍が少しずつ終わりへと向かいつつありますが、今期もリアルでの執行委員会の開催がかなり難しい一年でした。

来期はラストスパートを迎えた大塚家具 IDC ユニオンの執行委員として、会社と組合員を繋ぐ役割を最後まで精一杯果たせるよう頑張ります。

また、ヤマダホールディングスユニオンとの統合後は個人的に支部の垣根を超えた交流を働きかけていきたいと思っております。宜しくお願いたします



執行委員  
**八矢 裕二**  
(本部支部)

コロナ禍での過ごし方に少しずつ慣れ、昨年よりは組合員の方とお話しする機会も増えたように感じます。

組合員の方にはご協力頂く機会が多く大変感謝しております。それに対し組合員の方より頂いたご意見や不安に執行部としてどこでも対応出来たかと考えるとまだやれた事はあったように思います。

次期はやり残した事のないよう精一杯努めてまいりたいと思います。

 <p>執行委員 <b>真嶋 謙人</b> (ブランド営業部 E 支部)</p>	<p>今期は吸収合併に伴い、会社が大きく変わりました。現状も規定や方針が定まらないまままで今までと異なることが多く、不十分なことが散見しております。</p> <p>また、転勤等で職場環境の変化があり日々の業務において不安、不満がある方もいらっしゃるかと思います。組合員の皆様が順応して前向きに業務ができる環境作りに引き続き努めていきたいと思っております。</p> <p>今後とも、よろしくお願いいたします。</p>	 <p>執行委員 <b>高橋 秀尚</b> (横浜 S C 支部)</p>	<p>組合員の皆様お疲れ様です。今期におきましては会社の吸収合併に伴いこれまでに経験のない大きな環境の変化があった1年でした。またコロナウイルスの影響により執行委員会は大半がリモートでの開催を余儀なくされました。</p> <p>私自身の組合活動を振り返りますともっと出来ることがあったのではないかと反省をしております。</p> <p>今後は給与制度など労働条件について協議をしていくこととなりますが組合員の皆様の声を執行委員会においてしっかりと検討し精一杯取り組んで参ります。</p>
 <p>執行委員 <b>羽田 和孝</b> (名古屋栄 S R 支部)</p>	<p>お疲れ様です。今年も会社も個人的にもいろいろなことが起こる一年でありました。</p> <p>ユニオン活動としては、コロナにより、集合できずWEB会議続きとなってしまったり吸収合併により体制が大きく変わり不安を多く抱える事となったように思います。</p> <p>大きい変動のあった一年ではありましたが、しっかりと乗り越えていき、この一年で力を付けた事、新しく知ったことなどを活用して次期にも活用していきたいと思っております。</p> <p>引き続き自分で出来ることを考えてユニオン活動の力添えをしていきたいと思っております。</p>	 <p>執行委員 <b>尾崎 智一</b> (有明 S R 支部)</p>	<p>有明ショールームの皆様には折鶴、選挙、アンケートなどで限られた時間の中、多大なるご協力をいただき、無事に年間ユニオン活動をすることができました。</p> <p>支部委員のメンバーにも助けて頂き感謝しております。新しく支部委員になっていただいた武澤さんよろしくお願ひ致します。</p> <p>今期の活動も組合統合後の活動がどうなるか分かりませんが、組合員の皆様が安心して働ける職場に出来るよう取り組んでいきたいと思っております。</p>
 <p>執行委員 <b>佐藤 麻子</b> (有明 S R 支部)</p>	<p>コロナ禍の中でのユニオン活動がどのように進められるか、どうすれば組合員の方が働きやすい環境をどの様にしていけるかを考えながら過ごす1年になりました。</p> <p>これから1年はより変化も多い時期になるので、組合員の方々の声をしっかりと聞き取り、少しでも前向きに働きやすい環境が作れる様にしていきたいと思っております。</p>	 <p>執行委員 <b>高畑 浩</b> (有明 S R 支部)</p>	<p>ヤマダデンキとの統合やコロナなど、私たちの働く環境の変化に柔軟に対応していく為にも、ユニオン執行委員会での共有とショールームでの発信がとても大切であると感じております。</p> <p>大塚家具事業部として継続していくことができるよう、組合員が少しでも心配に思っていることを聞き取り、情報をフィードバックできるよう、引き続き最後までしっかりと努めてまいりたいと思っております。</p>



執行委員  
**江副 洋平**  
(神戸SR支部)

今期は5月の会社の合併に7月の参院選と、会社としてもユニオンとしても大きな節目となる1年でした。  
合併後の各支部の状況や来年4月以降に向けての労使協議など、大塚家具事業部として組合員が安心して働ける環境整備には、まだまだ継続的な取り組みが必要な状況です。  
IDCユニオンとして最後までできる限りのことができるようがんばって参りますので、ご協力のほどお願いいたします。



執行委員  
**伊集院 巧**  
(大阪南港SR支部)

組合員の皆様お疲れ様です。今年には会社の吸収合併に伴い色々変化の多い一年でした。退職者も多く、残ってがんばってる方々の負担が増えていると感じています。  
労働条件やボーナスの事など3月にどうなるのか色々不安はあると思いますが、悪いことばかりではないと思います。  
組合がいつまであるかわかりませんが前向きに少しでも働く環境が良くなるよう組合員の皆様としっかりコミュニケーションをとってIDCユニオンの執行委員としてがんばります。



執行委員  
**鳥本 和義**  
(大阪港SC支部)

組合員の皆様、日々の業務お疲れ様です。  
一年を振り返ってみると、昨年から続くコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻等による物価上昇と大変な状況でしたが、私達にとってはやはり吸収合併が一番大きな出来事だったのではないのでしょうか。  
会社を去っていく人が多い中、会社に留まって頑張っている皆様には少しでも幸せを感じとっていただきたいので、来期はユニオンが続くかぎり微力を尽くして皆様のお力になれるよう頑張りたいと思います。



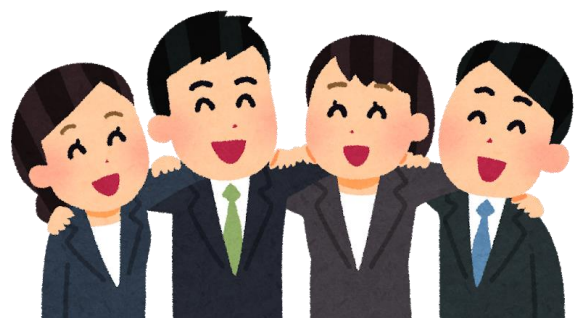
執行委員  
**渡辺 翔太**  
(福岡SR支部)

執行委員1年目で組合員皆さまの意見を聞き、少しでも環境が改善されるように努めてまいりましたが、非常に力不足を感じる1年でした。  
これからまた、会社も変化していくとは思いますが組合委員の方の意見をしっかりと共有ができるようより一層努めていきたいと思っています。  
コロナ禍もまだまだ続くかとは思いますが、みんなで力合わせて乗り越えていきましょう。



会計監査  
**齋藤 直**  
(本部支部)

今年も組合員の皆様が安心して活動出来るよう、微力ながら会計監査という立場から活動してまいりました。新型コロナウイルスの猛威は続き、“密”であるべきはずの組合活動が制限され、思うような活動が出来なかった方も多と思います。  
組合活動って“密”ですから本来の活動が早急に再開出来ることを思い描き、皆でこの難局を乗り越えましょう。また、今後は会社の規模が大きくなる為、会社の方向性がこれまで以上に組合員に伝わりづらくなると思います。私に何が出来るか模索しながら努めていきたいと思っています。



## 第3 3期活動報告について

### I. 労働条件の維持改善について

#### 1. ヤマダデンキとの吸収合併への対応について

2022年2月14日、株式会社大塚家具と株式会社ヤマダデンキによる吸収合併の発表が行われた。

この発表を受け、ユニオンは専門店ユニオン連合会の支援のもと、「組合員の心理的不安を解消させることで合併業務をより円滑に進め、合併によるシナジー効果をより発揮させ、従業員が一丸となって邁進できる体制を強化する」目的のため会社に対して覚書の締結を申入れた。

組合員の皆様には、協議内容を組合ニュースで周知しつつ、交渉を進めた。

結果として4月21日、会社とユニオンにおいて覚書が締結された。

また、会社の「吸収合併に関する説明会」において、ユニオンとしての今後の取組みや方針について説明を行った。



#### 2. 賃金改定について

##### (1) 賃上げの要求～交渉

(交渉当時の社会情勢)

- ① 横ばいの状況が続いていた実質GDPは、2020年度コロナ禍で大きく減少した。大きな減少はリーマン・ショック時の2008年度以来となった。一方で、2020年第3四半期以降は徐々に回復し、2019年度の水準に近づいている。
- ② 物価は2020年12月から上昇傾向にある。2021年10月の時点では総合で0.1%のプラス。直近で、原油や食品、建築資材なども高騰しており、2022年度は政府0.7%、民間（ESPフォーキャスト調査）0.65%のプラスと予想している。
- ③ 購買力平均（ドルベース）で見た各国の平均年収はほぼ増加傾向にあるが、日本の平均年収は1997年以降ほぼ上昇せず、イタリアと同水準となっている。2020年の日本の平均年収はアメリカの約半分（55.5%）となっており、各国との賃金水準の格差が広がっている。

(当社の状況)

- ① 「株式会社ヤマダホールディングス2022年3月期 第3四半期決算短信」によれば、当社が所属している「その他事業」の売上高は、488億50百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は2百万円（前年同期営業利益△25億79百万円）と、前年から+25億82百万円、黒字転換及び改善となった。主な理由は株式会社大塚家具の収益改善であることは間違いがないが、当社単独の業績としては、未だ苦しい状況が続いている。
- ② 2022年2月14日、(株)ヤマダデンキへの(株)大塚家具の吸収合併が発表された。これにより、吸収合併への対応が迫られ、総合労働条件闘争への取組み方が大きく変わることとなった。

(交渉経緯)

このよう状況のなか、2022年度賃金改定においては、「現場でリスクを背負って働いている組合員への頑張り」「経済の好循環の実現（個人消費の回復）」「格差是正」を掲げ、SSUAとの統一賃金闘争に則り、「賃金体系維持分に格差是正分1%を含む総額9,000円以上の賃上げ」の統一要求を基に2021年12月より検討を始め、要求金額を9,335円（基準内賃金の3.11%）で要求金額を固めていった。

2月14日、ヤマダデンキとの合併がリリースされた。

この時点で要求案も固まっており、2月17日には、執行部において最終確認すること、妥結予定日（3月16日）時点では大塚家具として存続していることから、計画通りの交渉日程・交渉内容を進めることを会社・労連と確認した。

2月25日から交渉が始まった。第2回交渉（3月3日）において、労働条件の制度改定に関する項目は、2023年3月までにヤマダデンキの規定との調整があるため、今回の交渉の対象から外したいとの申し入れがあった。短期間で再度重なる改定は、組合員にも負担が大きいと判断し、労連・上部団体と確認しつつ、賃闘と制度改定以外の労働条件改善項目のみを要求項目として交渉を進めた。

妥結予定日としていた4回目の交渉日（3月16日）でも妥協点を見いだせず、交渉は5月12日まで継続し、上部団体であるUAゼンセンの闘争委員会より5月31日に妥結承認を受け決着した。

結果、会社からの「今期も厳しい状況ではあるが、一人でも多くの従業員と共にヤマダデンキとの合併に望みたい」との回答により総額1,000円（前年実績比821増）の賃上げとなった。

**(2) 賃金改定額** 組合員1人平均引上げ額 1,000円 (0.33%) <179円 (0.05%) 前年度実績>

※昇格昇給原資は除く ※勤続1年以上の正社員

算定基礎賃金 300,635円 (41.5歳)

(資格給、役職手当、技能手当、家族手当)

※上記の合計として1人当たり平均は以下の通りとなった。

J1-4以下の昇級分	昇格昇給分	賃上総額	賃上げ率
374円	626円	1,000円	0.33%

**(3) 初任給**

2022年度初任給については、以下の通りとなった。

	初任給
大卒	211,000
短大、専門学校卒	201,000
高卒	191,000



#### (4) 最低賃金

18歳以上の正社員組合員の最低賃金について、下記の通りとなった。

191,000円（基本賃金 満勤月額）

#### (5) 年齢別（世帯別）最低保障賃金

年齢、世帯に応じた最低生活を保障するため、下記の各年齢ポイントにおける賃金（基本賃金+家族手当）を下回らないこととする。

<u>25歳</u>	<u>201,000円</u>
<u>30歳（扶養の子1人）</u>	<u>221,000円</u>
<u>35歳（扶養の子2人）</u>	<u>241,000円</u>
<u>40歳（扶養の子2人）</u>	<u>251,000円</u>

#### (6) 実施期と有効期限

実施期は2022年4月度とし、有効期限は2023年3月度とする。

### 3. 労働条件改定に向けた取り組みについて ※主な要求項目を記載

#### (1) 顧客からのハラスメントへの対応について

##### ○要求内容

- 1) 管理職のために、顧客からのハラスメントへの対応マニュアルを作成する。
- 2) 従業員への「顧客からのハラスメントへの対応」研修を実施する。

##### ○会社回答

- 1) 厚生労働省の「カスタマーハラスメント対策企業マニュアル」を基に対応する。
- 2) 研修実施に向け、協議を進める。

#### (2) 婚姻後の旧姓使用について

##### ○要求内容

婚姻後において、以下の事項について新姓・旧姓の選択を本人が選択できることとする。

- 1) 名刺・ネームプレート・内線表・メールアドレス
- 2) 伝票に記載される名前
- 3) 労使により必要と判断されたこと

##### ○会社回答

5月1日の吸収合併後、ヤマダデンキの運用を基に実施に向け検討を始める。

#### (3) 勤務間インターバル制度の拡充

##### ○要求内容

時間管理の徹底のため、労使協議会にて改善のための取組みを行なう。

##### ○会社回答

時間管理を徹底するための方法については、ヤマダデンキの運用を参考として、労使協議のうえに対応する。

#### (4) その他の要求項目

- 1) 所定労働時間の短縮
- 2) 勤務間インターバル制度の拡充
- 3) 定年延長について
- 4) 店舗閉鎖協定の締結について
- 5) 店舗における月1回の定休日制度
- 6) 時間単位年休制度の導入
- 7) 等級間ピッチの細分化
- 8) 賞与に関する規定について
- 9) 「公民権行使」について
- 10) 労災付加給付制度の拡充について

○会社回答

上記の項目については、ヤマダデンキとの合併による諸制度統合を踏まえ、要求に応じることが出来ない。

#### 4. 一時金について

##### (1) 2021年度 冬期一時金について

2021年冬期一時金については、「本年9月の株式会社ヤマダホールディングスによる完全子会社化により、ヤマダグループの一員としてより一層の連携強化を図り、全社一丸となって経営効率の改善を進めてまいりました。その結果、赤字幅は縮小し業績改善の兆しが見え始めてはいるものの、今期中の黒字化及び財務基盤の安定化の見込みは立っておりません。つきましては、こうした現下の厳しい経営状況を踏まえ、現時点において貴組合の要求にお応えすることは困難であると判断せざるを得ません。」との会社回答により賞与の支給は見送られた。

##### (2) 2022年度 夏季一時金について

2022年夏季一時金については、「大塚家具事業部単体としての業績は確実に上向きつつあるものの、日標とする黒字化の達成には至りませんでした。こうした状況において、ヤマダホールディングスからは、確実に赤字が解消されるまでは一時金の支給を見送らざるを得ないという方針が示されており、現時点において、貴組合からの要求にお応えすることはできません。」との会社回答により賞与の支給は見送られた。

## II. 労働安全衛生に関する取り組み

### 労働安全衛生委員会の活用

現在、会社では常時使用する労働者数が50人未満の場合でも、労働安全衛生委員会の開催を義務づけている。ユニオンでは、原則、労働安全衛生委員会にユニオンの役員が参加することとし、各事業所においては在籍事業所の労働環境の改善に取り組み、本部中央労働安全衛生委員会では、会社全体の安全・衛生について課題の解決に取り組んだ。

### Ⅲ. 生産性向上への取り組み

#### 自己啓発活動の支援について

ユニオンでは、『枯れ井戸から水はくめない』との考え方にに基づき、生産性の向上を目指している。組合員が自らのスキルアップを目的とした自己啓発活動を積極的に支援している。

##### (1) 工場見学会補助金制度の活用について

家具・インテリアのプロとして、より多くの組合員に知識を深めてもらうため、年2回を限度に工場見学の費用をユニオンより補助している。

前期に引き続き、2020年に確認された新型コロナウイルス感染拡大の影響のため利用実績がなかった。

##### (2) 資格取得費用（受験料）補助金制度

組合員の自己啓発を応援すると共に、生産性の向上に寄与できるよう、当社で必要と思われる能力の向上に有益となる資格に限定し、対象資格の受験料に対する補助を行っている。今期は、事業所単位での受験がなかったため以下の結果となった。

・今期利用件数 20回（前期121回） ※支部別利用実績は17頁参照の事

### Ⅳ. 組織強化への取り組み

#### 1. エリア制の導入について

ヤマダデンキの事業所に就業する組合員（以下、「Y組合員」という）の増加により、全国を4つのエリアに分け、各エリアの中心となる支部を基幹支部とした。各エリアに該当するY組合員は基幹支部の所属とした。また、各エリアにエリア長を設置した。

エリア	基幹事業所	エリア長	担当エリア
A	本部支部	砂岡執行委員長	北海道、東北地方、関東地方
B	名古屋栄SR支部	斎竹副執行委員長	甲信越地方、北陸地方、東海地方
C	大阪南港SR支部	田村書記長	近畿地方、中国地方
D	福岡SR支部	大森副執行委員長	四国地方、九州・沖縄地方

#### 2. 教育活動への取り組みについて

##### (1) SSUA主催共育活動への参加

SSUAでは、組合活動の発展のため、次期委員長の養成、男女が生き活きと働ける職場環境を創造、思想教育等の共育活動を実施している。

(リーダー育成講座・ダイバーシティ委員会)

講座名	ユニオン役職	参加者	参加回数
リーダー育成講座	書記長	田村 達也	4/5回
ダイバーシティ委員会	執行委員	佐藤 麻子	2/5 (内ZOOM1回)

(オンライン・ニューヨークシティ体験セミナー)

セミナー名	開催日	ユニオン役職	参加者
オンライン NYC 体験セミナー	2021年11月11日	執行委員長	砂岡 誉
		書記長	田村 達也

## (2) UAゼンセン教育活動への参加

UAゼンセンでは、役員レベルでの研修や実践講習等が行われている。

(UAゼンセン本部研修)

講座名	開催日	ユニオン役職	参加者
経営分析講座(初級)	2021年12月19日	執行委員	津久間 雄太
カウンセリング講座	2022年5月9~11日	執行委員長	砂岡 誉
賃金・人事制度講座	2022年6月9~11日	執行委員	津久間 雄太

(流通部門 主催セミナー)

セミナー名	開催日	ユニオン役職	参加者
WEB海外視察セミナー	2022年5月9日	執行委員	高畑 浩
	2022年5月10日	執行委員	江副 洋平
WEB防災・減災セミナー	2022年5月25日	執行委員	尾崎 智一

(共済事業局・都支部主催セミナー)

講座名	開催日	ユニオン役職	参加者
WEB介護セミナー	2022年7月12日	—	事務局員1名
WEBライフプランセミナー	2022年8月22日	—	組合員1名

## 3. レク活動援助金制度の利用率向上について

レク活動援助金制度はスポーツやレクリエーション活動を通じて健全なコミュニケーションを図り、組合員相互の信頼関係を育くむことを目的とした援助金制度である。今期についても執行委員会での討議の結果、組合員1人につき通年で3回までの利用とした(本来は2回)。

前期より新型コロナウイルス拡大の影響から利用が激減したため、執行委員会において特別措置を検討し、「緊急事態宣言、或いはまん延防止等重点措置」発令中において、レク活動援助金制度の対象人数を2名とすることを決定した。 ※支部別利用実績については17頁を参照の事

## 4. 新入組合員歓迎会の実施について

今期については、ヤマダホーディングスの方針により4月の定期採用が無かったため、新入組合員歓迎会は開催を見送ることとなった。

## 5. 本部主催レクリエーションの実施について

コロナ感染の拡大以前に開催されてきたボウリング大会は、新型コロナウイルスの拡大リスクを最小限とするため、執行部での検討の末、実施を見送ることとした。

## 6. SSUA主催の地域活動・レクリエーション活動への参加について

SSUAでは、事業所の在籍地域の活性化や加盟組合の仲間との交流を目的として地域幹事会や各種レク・イベントを開催している。今期は、新型コロナウイルス感染症の影響により参加組合は減少したものの幹事会主催イベントやスポーツイベントは行われた。

(地域幹事会)

幹事会名	幹事名	参加回数	幹事会主催イベント
名古屋地域幹事会	斎竹 耕 (副代表幹事)	3回	ソーセージ作り&BBQ
	羽田 和孝	3回	4名参加
大阪地域幹事会	田村 達也 (副代表幹事)	3回	ピンポン玉リレー&BBQ
	鳥本 和義	1回	6名参加
地域幹事会代表会議	田村 達也、斎竹 耕	1回	

(レク活動)

レクリエーション	開催日	参加人数	順位
第39回 野球大会&ソフトボール大会	2022年5月11日(水)	18名	5位
第12回 フットサル大会	2022年4月19日(火)	15名	4位

※当ユニオンが参加したレク活動のみ記載

## V. 福利厚生関係について

### 1. 共済関係

#### (1) UAゼンセン各種共済制度の加入状況

UAゼンセン各種共済制度は、UAゼンセンが公的保障の不足を補うための組合員の自助努力を応援する目的で設けられている。特に年金共済・積立終身共済については組合員の将来の生活基盤作りを支援する制度であり、「生涯設計給付金」等自己運用のメニューの1つとして最適なものと判断し、積極的に案内している。

・各共済の合計加入件数は2022年9月30日現在

・新加入数は第33期加入件数

(登録組合員数：759名)

	既加入	新加入	合計	加入率
年金	76	1	77	10.1
積立終身	102	0	102	13.4
医療	77	1	78	10.3
傷害・賠償	3	0	3	0.1
新生命	47	1	48	6.3
給与保障共済	13	1	14	1.8
住宅あんしん	7	0	7	0.9
<b>のべ合計</b>	<b>325</b>	<b>4</b>	<b>329</b>	<b>43.3</b>

・合計は各共済加入件数の合計

## (2) SSUAサポート制度

SSUA では、オリジナルの 3 つのサポート制度で加盟組合員の生活を助けている。

- ・『収入サポート制度』：長期間働けなくなった場合に収入を補償する。
- ・『介護サポート制度』：本人・配偶者とその親が、介護が必要な状況となった際、経済的な補償をする。
- ・『自転車サポート制度』：本人、あるいはご家族が自転車事故の加害者になった場合、相手への損害賠償費用を補償する。

第 33 期 加入者累計：収入サポート 23 名 介護サポート 0 名 自転車サポート 2 名

## (3) 労働金庫「ろうきん」利用状況

「ろうきん」は労働組合や生活協同組合の仲間が資金を出し合い、勤労者のために作られた協同組織の福祉金融機関である。よって、民間の金融機関とは違い、営利を目的として運営されていないため、組合員にとっては金利面や返済方法等で有利な条件を受けられる。

### 1) 融資制度・・・給与天引きで返済できる、低利で便利な融資制度である。

(件数)

		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
新規利用者数		3	11	10	3	2	2	2	1
内訳	カー	2	6	4				1	1
	住宅		4	3	2	2	2		
	リフォーム				1				
	フリー			2				2	
	教育	1	1	1					
融資額計/千円		6,370	125,860	106,990	40,180	57,300	66,100	4,000	2,000

### 2) 財形貯蓄制度・・・財産形成や持家取得などを促進することを目的にした制度である。

※2022年5月1日ヤマダデンキとの合併により、取扱いが中止となった。

	一般財形	住宅財形	年金財形	計
2022	—	—	—	—
2021	23	0	1	24
2020	24	0	1	25
2019	27	0	2	29
2018	52	0	3	52
2017	45	0	4	49
2016	49	0	4	53

## 2. 組合員の余暇充実に対する取り組み

### (1) 契約保養所施設の利用について

組合員及びご家族皆様の余暇の充実を支援する目的で、ユニオンでは契約保養所の取扱いを行い、より気軽に利用して頂けるよう「契約保養所宿泊補助金制度」を導入している。

※宿泊補助金制度の利用実績については17頁を参照の事

#### 1) SSUA契約保養所

##### ○リゾートトラスト

(会員制リゾートホテル・エクシブ、リゾートピア、サンメンバーズ、ホテルトラスティ)

「契約保養所宿泊補助金制度」対象の宿泊施設運営会社で組合員人気NO.1である。

リピーターが非常に多いのが特徴である。また、多くの施設(鳴門、軽井沢サンクチュアリ、那須白河、京都八瀬離宮、東京ベイサイド、箱根離宮、有馬離宮等)において当社が納入した家具が使われている。

(人数)

	蓼科	山湖	軽沢	伊豆	初島	沼湖	鳥羽	白浜	鳴門	琵琶湖	淡島	那須	箱根	熱海	京都八瀬	箱根離宮	他	総計
'22	6	17	2	4	4	3	3	10	9	2	3	0	0	0	3	21	34	121
'21	0	14	8	12	7	8	2	0	6	0	0	0	0	3	2	18	23	103
'20	5	4	6	20	0	0	6	0	0	0	4	0	0	2	9	4	41	101
'19	5	15	14	18	20	0	10	21	16	0	0	0	7	0	0	14	35	175
'18	20	21	45	28	6	3	25	14	5	0	0	2	8	2	14	15	34	242
'17	18	24	27	70	23	25	28	10	13	15	0	0	21	0	25	54	24	377
'16	54	37	57	84	32	10	21	18	20	13	10	8	10	0	25	41	31	471

(2022年度 その他内容 有馬離宮2、湯河原離宮19、トラスティ東京ベイ6、トラスティ金沢香林坊1、トラスティ名古屋栄1、トラスティ名古屋白河5)

##### ○ラフォーレ倶楽部

この施設はゴルフ場やテニスコート、体育館等スポーツ設備も充実しており、施設によってはそれら設備を無料で利用できるのが特徴である。(強羅、軽井沢、南紀白浜、新大阪等には当社が家具を納入している)

(人数)

	山中湖	伊東	修善寺	強羅	軽井沢	那須	白馬	蔵王	白浜	琵琶湖	新大阪	東京	提携	計
'22	0	8	0	4	6	10	0	0	18	8	0	0	0	54
'21	4	0	0	2	6	0	0	0	20	0	0	0	0	32
'20	3	6	5	0	0	13	0	6	0	0	0	0	0	33
'19	14	4	16	0	0	19	15	0	41	3	2	0	0	114
'18	0	5	4	10	33	26	0	0	53	4	2	0	0	152
'17	12	17	15	13	4	28	0	0	16	4	2	0	0	111
'16	31	3	17	12	12	21	4	—	44	—	6	—	20	170

## 2) ユニオン契約保養所

### ○セラヴィリゾート泉郷

この施設は、通常のホテルの他に貸別荘やコンドミニアム形式のホテルが多く、また、ペット同伴で宿泊できる施設があるのが特徴である。ここ数年、提携施設を増やすことによりカバーできる地域を広げている。 (人数)

	八ヶ岳	伊豆高原	蓼科	安曇野	鳥羽	浜名湖	松坂	清里	高山	その他提携	計
'22	12	5	3	15	0	0	0	0	0	0	35
'21	8	7	0	16	0	0	0	4	0	2	37
'20	13	5	12	0	0	0	0	6	0	0	36
'19	38	48	2	11	12	12	0	4	0	26	153
'18	64	51	22	40	9	6	0	12	0	0	204
'17	48	25	46	36	28	12	4	12	0	12	233
'16	31	55	23	52	4	33	—	9	—	42	218

※ その他「宿泊補助金制度」の対象となっている『プリンスホテル』が 21 名の利用があった。

## (2) 会員制スポーツクラブの利用促進について

### ○コナミスポーツクラブ

組合員の健康維持・リフレッシュ等を考え、ユニオンのスケールメリットを生かして契約している制度である。組合員とその家族が法人会員として利用することができ、組合員本人については、1 回の本人負担分がユニオンの補助により通常の法人会員利用よりも更に安いほぼワンコイン（500 円）で利用することができる。

また、「ライフサポート倶楽部」（コナミが法人契約したリゾートソリューションのサービスを、組合員がコナミに会員登録することにより利用できるサービス）を導入し、組合員の皆様により多くのサービスを提供している。

(延利用件数)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
'22	28	30	23	26	23	11	25	14	31	27	25	18	281
'21	30	29	28	25	36	39	38	35	18	24	28	19	349
'20	71	65	65	64	62	25	6	0	16	34	27	30	465
'19	86	73	61	72	85	69	82	68	65	72	79	83	895
'18	152	133	101	118	112	124	118	101	92	101	82	88	1,322
'17	173	160	122	151	149	156	161	148	145	144	159	181	1,849
'16	145	144	145	158	158	151	167	176	226	219	187	173	2,049



### (3) 「BELSファミリークラブ」との提携を開始

組合員の皆様への生活応援活動の一つとして「BELS ファミリークラブ」の周知活動を行っている。140社以上の企業から割引などの優待特典が受けられる。

(サービス内容の一部)

- ・有名グルメ店の食事優待券
- ・衣料品や雑貨などの限定セール情報
- ・レジャー施設のクーポン券の配布

### 3. 組合員の健康の保持増進に対する取り組み

ユニオンでは組合員の健康に対する意識の向上及び疾病予防を促進することを目的に以下の取り組みを行っている。

#### インフルエンザ予防接種補助の制度化

関東百貨店健康保険組合の被保険者及び被扶養者を対象に、インフルエンザ予防接種の費用を会社と補助している。

今期は新型コロナウイルス感染症の影響か、インフルエンザの流行が抑制された。

#### 1) 補助内容 ※予防接種の費用：約 3,960 円

<被保険者の場合>

ユニオン負担	1,250 円
保険組合補助	1,000 円
組合員本人負担	約 1,710 円

#### 2) 利用実績

今年度 58名 (接種率約 7.0%) ※前年度 252名 (接種率約 30.2%)

## VI. 社会貢献活動への取り組み

### 1. 2021年 家庭に眠る小さなお宝キャンペーンへの参加

UA ゼンセンの活動に賛同し、書き損じはがきや使用済み切手等、家庭に眠っている価値あるグッズのカンパ活動により、NGO・NPOの団体を通じて開発途上国の援助を行った。

(集約結果) ※カッコ内前年度実績

・参加支部数	15支部/16支部 (13支部/16支部)
・使用済み切手	1,757g (1,018g)
・書き損じ。未使用はがき	5枚 (3枚)

## 2. CSA（アジア連帯委員会）2022年中古衣料・海外輸送費カンパ

ユニオンでは、CSAによるタイやラオスの劣悪な環境で生活している人々への「救援衣類を送る運動」を行ってきた。

しかし、CSAよりUAゼンセンを通じ「コロナ後の輸送に関する新たな課題※が判明し、その解決には年月を要することから、この活動を当面の間の中止はやむを得ないと判断した」旨の連絡があり、取り組みを断念した。

※新たな課題：海上輸送費の高騰、急激な円安による米ドル支払いの高額化、全段ボールの検品・検量が必要となったこと等

## 3. SSUA平和活動への参加

SSUAの「社会貢献活動」の一つとして「平和運動」に取り組みを行った。具体的な活動としては各加盟組合において折り鶴を集約し、SSUAが取りまとめ広島平和記念公園に献納した。

(集約結果)

・参加支部数	14支部/16支部 (11支部/16支部)
・折り鶴点数	2,000羽 (2,120羽)

## VII. 政策・制度実現に向けた取り組み

### 1. 大衆活動について

今期、労使では解決できない課題を解決するため、政治の日常化を目指し活動をおこなった。  
(主な大衆活動)

- 「拉致被害者全員の一刻も早い救出を！」
  - ・署名活動：署名数 **680** (前年実績 **543**) 筆
  - ・支援活動の歴史に対する執行部の理解を深めるための学習活動

### 2. 政治活動への取組み

#### (1) 第26回参議院議員選挙

- ・かわい たかのり 比例区 当選

#### (2) 区議会議員補欠選挙

- ・増田 裕一 杉並区 落選

※主な活動

- 1) 執行部・支部長（支部委員会）等を通じたの支援者の拡大活動
- 2) 政治研修会「労働組合が政治活動に取り組む理由」の実施
- 3) 執行部・支部長（支部委員会）が中心に行った各支部での定着活動

### 3 3 期 組 員 数 & 補 助 金 使 用 状 況

支部	組 員 数			レク費補助				工場見学補助		受験料補助			検診補助	宿泊補助金利用人数												
	組合員	嘱託	総組合員	①回	②回	③回	率(%)	上期	下期	1回	2回	3回		リゾートトラスト			ラフォーレ倶楽部			泉郷/アリス他			計			
														組合員	配偶者	1親等	組合員	配偶者	1親等	組合員	配偶者	1親等				
南船橋店	15	3	18	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ブランド営業	8	0	8	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新宿SR	95	6	101	28	5	1	11.2	0	0	0	0	0	33	10	10	25	3	3	8	5	0	6				70
本社	121	3	124	16	13	6	9.4	0	0	6	2	1	39	6	1	4	1	0	1	7	7	6				33
法人本部 関東	23	4	27	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	18	5	3	6	0	0	0	2	2	2				20
横浜SC	89	6	95	12	0	0	4.2	0	0	3	0	0	30	1	1	4	0	0	0	0	0	0				6
横浜MM	43	3	46	29	16	12	41.3	0	0	0	0	0	12	2	1	1	0	0	0	2	2	4				12
有明本社 SR	72	2	74	10	1	0	5.0	0	0	1	0	0	22	1	1	2	0	0	0	1	0	0				5
アウトレット &リワース	14	2	16	6	4	1	22.9	0	0	1	0	0	9	0	0	0	4	4	4	0	0	0				12
名古屋栄 SR	48	2	50	11	3	0	9.3	0	0	1	0	0	13	13	2	2	0	0	0	2	2	2				23
名古屋 SC	12	1	13	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
神戸SR	17	0	17	5	1	0	11.8	0	0	0	0	0	9	3	1	4	1	0	0	1	0	1				11
大阪南港 SR	82	4	86	14	2	1	6.6	0	0	5	0	0	51	5	2	11	8	7	8	0	0	0				41
大阪港 SC	32	0	32	11	3	0	14.6	0	0	0	0	0	13	1	0	0	2	2	2	0	0	0				7
福岡 箱崎SC	9	0	9	0	0	0	0.0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
福岡SR	48	0	43	24	13	7	34.1	0	0	0	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
計	728	36	759	166	61	28	11.2	0	0	17	2	1	289	48	22	59	19	16	23	20	13	21				241

計 129      計 58      計 54

前年実績	799	38	837	76	23	7	4	0	0	116	4	1	265	105		32		53								190
前年比(%)	91.6	94.7	91.2	219.6	265.0	400.0	277.5	0.0	0.0	17.0	50.0	100.0	109.0	122.9		181.2		101.9								126.8

33期慶弔見舞金支給状況

適用	給付適用区分	金額(円)	2021年			2022年			7月	8月	9月	合計	
			10月	11月	12月	1月	2月	3月					4月
結婚 ※勤続1年以上在籍、 退社後3か月以内に 入社した場合支給	本人	勤続3年以上 50,000	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	3
		勤続3年未満 30,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		30,000	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出産	組合員の子女の結婚												
		30,000	2	2	2	1	3	1	1	1	1	1	18
		30,000	0	1	1	0	3	0	1	0	0	0	9
入学	小学校	10,000	0	0	0	0	4	16	6	1	0	0	29
		10,000	0	0	0	0	1	15	12	0	0	0	29
		200,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
死亡	配偶者	100,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		50,000	2	2	2	1	1	2	3	1	3	0	20
		10,000	1	3	7	4	4	2	0	3	3	1	31
入院(7日以上)	本人	20,000	1	0	2	1	0	0	0	0	1	0	6
		10,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		20,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
療養共済金			2	0	0	1	0	3	1	1	0	10	

### 第33期 活動日誌

月		IDCユニオン		専門店ユニオン連合会		UAゼンセン
2021 10	13 13 15  22 28	第11回三役会 (WEB) 第11回執行委員会(WEB) 外部監査  労使協議会 (WEB 併催) 労働衛生委員会	11  19- 20 20- 21	第1回拡大三役会  拡大合同委員会 &第2回執行委員会 (静岡:中島グランドホテル) 共育部合宿 (静岡:マッターホルン)	15	第1回組織教育委員会 (WEB)
11	10 17  25 25	第12回三役会(WEB) 第33回定期総会 (4拠点WEB)  労働衛生委員会 労使協議会 (WEB 併催)	9  18  29	第2回拡大三役会  第3回執行委員会  第3回拡大三役会	4 5  19	第1回部会運営委員会 政策フォーラム (京王プラザホテル&WEB)  第2回組織教育委員会
12	6  15 16 23	第1回三役会  第1回執行委員会 労働衛生委員会 労使協議会 (WEB 併催)	6- 7  28	賃闘対策会議 &第4回執行委員会 (アワーズイン阪急大井町)  第4回拡大三役会	3  10	第1回全国委員長会議  第2回部会運営委員会
2022 1	11  20 25 27	第2回三役会(WEB)  労使協議会 (WEB 併催) 第2回執行委員会(WEB) 労働衛生委員会	14  27	第5回執行委員会  賃闘説明会 (名古屋:カネジュービル)	12 13	第3回部会運営委員会 第3回組織教育委員会(WEB)
2	8  17 18 24	第3回三役会(WEB)  第3回執行委員会(WEB) 労使協議会 (WEB 併催) 労働衛生委員会	2  16	第5回拡大三役会  第6回執行委員会	15	第4回部会運営委員会
3	16 17 21 23 24 28 30	第4回三役会(WEB) 労働衛生委員会 臨時労使協議会 第4回執行委員会(WEB) 労使協議会 (WEB 併催) 吸収合併に関する説明会①② 吸収合併に関する説明会③④	1 9	第6回拡大三役会 第7回執行委員会	14	共闘会議 (WEB)

### 第 3 3 期 活動日誌

月		I D Cユニオン		専門店ユニオン連合会他		U Aゼンセン
4			4	第 7 回拡大三役会	6	第 4 回組織教育委員会
	14	第 5 回三役会 (WEB)	13	第 8 回執行委員会	12	第 5 回部会運営委員会
	19	第 5 回執行委員会 (WEB)				
	21	労使協議会 (WEB 併催)	27-28	第 8 回拡大三役会合宿 (AP 名古屋)		
5	18	第 6 回三役会 (WEB)	18-	拡大合同委員会		
			19	& 第 9 回執行委員会 (静岡;アクトシティ浜松)		
	23	労使協議会 (WEB 併催)			25	第 5 回組織教育委員会
	24	第 6 回執行委員会 (WEB)	26-	共育部合宿		
			27	(石川;オフィス S・L・K)		
6			1	第 9 回拡大三役会	13	第 2 回全国委員長会議
	22	第 7 回三役会 (WEB)	15	第 10 回執行委員会	14	労使研究会 (WEB)
	24	SSUA 会計管理検査			23	第 6 回部会運営委員会
	29	第 7 回執行委員会 (大阪開催&WEB 併催)				
7			7	第 10 回拡大三役会	6	第 6 回部会運営委員会
	13	第 8 回三役会 (WEB)	12	YHU 合同調整委員会 (AP 秋葉原)		
	20	第 8 回執行委員会 (WEB)				
	21	労使協議会 (WEB 併催)	21	第 11 回執行委員会		
			27	労使懇談会 (日暮里ラングウット)		
8	8	第 9 回三役会 (WEB)	8	第 11 回拡大三役会	9-	第 7 回組織教育委員会
	17	第 9 回執行委員会 (WEB)			10	(ハッセルイン札幌中島公園)
	26	労使協議会 (WEB 併催)	25	第 12 回執行委員会	24	流通産業労使フォーラム (WEB 併催)
9			14	第 12 回拡大三役会	21-	第 11 回定期大会
	27	労使協議会 (WEB 併催)			22	(東京国際フォーラム)
	28	第 10 回執行委員会 (本部研修室&WEB 併催)				

## 大塚家具 IDCユニオンの長期活動ビジョン

IDC 大塚家具が働き甲斐のある会社 No. 1 となる為に  
組合員の思いが伝わる環境作りを目指す

## 大塚家具 IDCユニオンの中期活動ビジョン

### I. 組合員の思いが伝わる環境を作る



IDC ユニオンの存在感の向上

- ①組織力の強化
- ②労使の意見交換の機会充実
- ③生産性向上への寄与

### II. 働き甲斐のある会社とは？

- ①納得できる労働条件
- ②良好な労働環境
- ③お客様からの信頼
- ④ワークライフバランスの実現
- ⑤業務完遂による達成感
- ⑥納得性のある人事諸制度
- ⑦福利厚生の実施
- ⑧ハラスメントの撲滅

## 【第1号議案】

### 第34期 活動方針（案）

#### 1. 組織力の強化

- (1) 組織強化の推進  
基本的組合活動の点検・強化  
組合規約の整備  
労働協約の点検・整備
- (2) 事務局の組織強化  
各支部への事務局参加  
組合員からの相談対応  
レク活動・補助金制度・見舞金制度等の情報共有
- (3) 上部団体・労連活動への参加  
組合員の参加により組合活動の関与を深める  
役員の上部団体・労連との関係強化
- (4) 福利厚生、共済活動の推進  
福利厚生の周知、  
共済活動の推進
- (5) 男女共同参画の推進  
男女ともに機会・利益を均等に享受できる組織を目指す

#### 2. 労働条件の改善

- (1) 事前協議制の徹底  
労働協約に則った事前協議制の遵守
- (2) 労使協議会の充実  
会社の政策や近況及び職場の実態等に関する情報交換  
法改正への対応、  
労働環境の整備
- (3) 労働安全衛生の改善  
労働環境の安全・衛生管理の点検・改善

#### 3. 共育活動の推進

- (1) 正しい組織運営ができるための共育
- (2) 組合員の期待に応えるための共育
- (3) 組合員の利益となる共育
- (4) 組合役員として必要と思われる共育

#### 4. 社会・政策活動

- (1) 社会活動の推進  
社会貢献活動・大衆活動への積極的な取り組み
- (2) 社会的地位向上を目指した活動  
政治活動の理解促進のための活動  
政治活動の日常化



## 第34期活動計画について

### I. 組織体制について

#### 1. 三役会

執行委員会提出議案、執行委員会より委任を受けた事項、その他緊急処理を要する事項について検討する。

- (1) 構成メンバーは三役（執行委員長、副執行委員長、書記長）、及びその他専従役員が在籍する場合はその者を含むこととする。
- (2) 原則月1回の開催とする。ただし、必要に応じて臨時に開催する場合がある。

#### 2. 執行委員会

総会決議に則りユニオン諸活動の執行と円滑な組織運営を行うことを目的とする。

- (1) 原則月1回の開催とし、13:30 開会、17:00 閉会を目処とする。
- (2) 会場は事務局所在地（有明）を原則とするが、年2回程度、地方開催とする。集合開催が基本ではあるが、WEB参加も可とする。
- (3) やむを得ず執行委員が欠席となる場合は、当該ブロックの支部役員（支部長）が代理出席する。
- (4) 出向や人事異動等により執行委員に欠員が生じたブロックについては、当該ブロックより互選し、執行委員会にオブザーバーとして出席することとする。また、執行委員会において必要と決議された場合、オブザーバーを設置する。
- (5) 執行委員の共育（教育）の場として、勉強会を実施する場合がある。
- (6) 年1回、拡大執行部合宿として開催とする。  
1月・・・執行部メンバーとのコミュニケーションの強化と給与調整・組合合同への対応、総合労働条件交渉の準備を目的とする。
- (7) ユニオン全体の共育活動を目的として、年に1回、正規の執行委員会構成員の他に、執行委員が未在籍の支部長も参加する「拡大執行委員会」を開催する。（10月）
- (8) 執行委員不在の支部長は、原則として近隣で行われる支部委員会に参加することとする。また、参加が困難な場合は、執行委員と情報を共有する。
- (9) ユニオン活動に必要と執行委員会で決議された場合、特別執行委員を選出することができる。特別執行委員は、執行委員長の要請により執行委員会に参加することとする。

#### 3. 支部委員会

総会及び執行委員会の決定方針に基づき支部内ユニオン諸活動の推進（企画・立案・運営等）を行う。また、当該支部を統括することにより、支部内組合員の声を集約し、事務局と連携し問題の改善に向けて取組むこととする。

- (1) 原則月1回の開催とする。
- (2) 在籍組合員数50名以上の支部については必ず開催する。
- (3) 支部委員の選出は、在籍組合員数20名に1人の割合を選出基準とするが、委員会構成人数は最少4名以上とする。選任された支部委員を本部事務局に登録し、人事異動等で支部委員に欠員が生じた場合はその都度新たに支部委員を選任し登録変更をする。尚、女性の意見を反映しやすい構成を目指す。（執行部メンバーは構成人数に含まない）
- (4) 各委員が役割を分担し、それを明確化して支部活動にあたるよう努める。
- (5) 支部委員会は、安全衛生に係わる事項について、執行委員会で決定した方針や、支部内組合員の声を当該支部の安全衛生委員会の活動に反映できるようにする。このため、支部委員会の構成員（少なくとも1名）を労働安全衛生委員会の構成員とする。

#### 4. 本部事務局

- (1) 本部事務局はユニオンの日常活動・各種相談窓口機能及び支部への支援活動と組織強化に重点を置く。
- (2) 「組合員の相談窓口」として、組合員からの相談（通報）については、支部と連携しつつ迅速に対応する。
- (3) 情報共有のツールとして、ホームページの利便性の向上と活動の『見える化』を促進する。

#### 5. 組合合同への対応

- (1) 双方の組織・制度・運用等の相違を点検・調整の検討をおこなう。
- (2) 組合合同に向け、有価証券の処分・預金口座の統合等の検討・対応をおこなう。
- (3) 組合員への解散記念品、組合役員への特別退任感謝表彰等の検討をおこなう。

### II. 労働条件及び労働環境の維持改善への取り組み

- (1) 主な労働条件及び労基法等の法改正に関する対応等については、上部団体の方針に則り、執行部で検討のうえ取り組むこととする。
- (2) 『ワークライフバランス』実現にむけて、所定労働時間の短縮を図るため、「業務改善」及び「業務の効率化」について労使にて検討していく。
- (3) 組合員にとってより納得性の高い人事処遇が行なわれるようにする為、人事考課や賞与査定の際、考課者面談が適切に実施されているかについて、調査・点検を行ない、問題があれば会社に対し改善の処置を講ずるよう求める。
- (4) 上部団体の活動方針に基づき「労働環境総点検活動」を実施し、改善に向けて取り組む。
- (5) 安全衛生活動に対して推進的役割を担えるよう、執行部及び支部長は「第二種衛生管理者」資格の取得に努める。
- (6) 地震や台風等の自然災害や感染症に関するリスクマネジメントが、適正に行われるようチェックしていく。

### III. 共育活動への取り組み

- (1) 上部団体・労連が主催する各種講座・セミナーへの積極的な参加要請をおこなう。
- (2) 各支部での活動や課題について情報共有の機会を作ることにより、環境改善に繋げる。
- (3) 関連企業での講座やセミナーを積極的に活用する。

### IV. 企業業績向上（生産性向上）への取り組み

- (1) 組合員の能力向上を図る為、自己啓発活動を推進するとともに、その支援を行う。
  - ・「工場見学会」に関する補助金制度の利用率向上に取り組む。
  - ・資格取得費用（受験料）補助金制度を有効利用し自己啓発を促す。
- (2) 「顧客満足の向上」に有効と思われる施策について会社に対し提言する。
- (3) 生産性向上のため、適正な就業時間管理の徹底と、時間外労働の削減に向けた取り組みを行う。5・6月は強化月間とし、「労働環境総点検活動」により課題を抽出する。

### V. 苦情・相談への取り組み

組合員からの苦情・相談窓口として、各支部と連携し迅速に対応する。

- (1) 組合員からの相談窓口であることの周知に努め、より相談しやすい環境作りを検討する。
- (2) 支部委員会の構成員とユニオン本部事務局とのダイレクト・コミュニケーションを活性化させる為、ホームページやSNSの活用を促進する。

## VI. コミュニケーションの活性化

- (1) 「UNION-INFORMATION」の充実  
組合員に有益なユニオン情報をタイムリーに発信する。
- (2) レクリエーション活動援助金の利用率の向上と有効活用を目指す。
- (3) 本部主催のイベントを執行委員会において企画する。※
- (4) 上部団体の地域幹事会及び各種レクリエーション活動に積極的に参加をし、地域内での支部及び他企業、他業種で働く仲間との交流を図る。  
※コロナウイルス感染防止のため、本部主催レクリエーション活動については利用状況、組合員の声を勘案し改廃を検討する。

## VII. 福利厚生への取り組み

- (1) 上部団体の各種共済、及び労働金庫、全労災の紹介を促進する。(春と秋に周知活動の強化期間を設定し取り組む。)
- (2) 契約保養所の利用について補助する。
- (3) コナミスポーツクラブの利用について補助する。
- (4) 「検診補助金制度」の利用について補助する。
- (5) インフルエンザ予防接種費用について補助する。
- (6) メンタルヘルスチェックについて、会社の運用をチェックし改善の必要があれば提言をしていく。

## VIII. 社会貢献活動への取り組み

『誰にでもできる』エコ活動、及びボランタス活動の推進を行う。

- (1) 古切手、書損じはがき、外国コイン、古銭等の収集を行う。
- (2) 支援が必要と思われる災害による被災者の方々への支援活動をおこなう。
- (3) 上部団体からの要請による社会貢献活動に積極的に参加することとする。

## IX. 政策・制度実現に向けた取り組み

企業内の労使関係だけでは解決できない年金・医療・育児・介護といった社会保障制度や、税制、労働政策・産業政策等といった私達を取り巻く国や地域の諸課題について、UA ゼンセン及びSSUAの方針のもと、私達勤労者の為の政策・制度実現を目指して以下の活動を行う。

- (1) 上部団体・労連による大衆活動には積極的に参加していく。
- (2) 組合員の生活における政治関与の必要性を考える機会を作り、日常的な共育活動を行う。
- (3) 『投票に行こう！』運動への具体的取組みを推進する。
- (4) 2023年、実施予定の「統一地方選挙」に対しては、SSUAの方針に則り活動を進めていく。

**【第2号議案】**

**第34期（2023年度）活動予算について**

別紙 『第34期予算書』参照の事

**【第3号議案】**

**組合合同について**

別紙 『組合合同について』参照の事

**【第4号議案】**

**2023年総合労働条件闘争における要求内容の決定、  
交渉委員、妥結権の委譲について**

別紙 『2023年総合労働条件闘争における要求内容の決定、  
交渉委員、妥結権の委譲について』参照の事

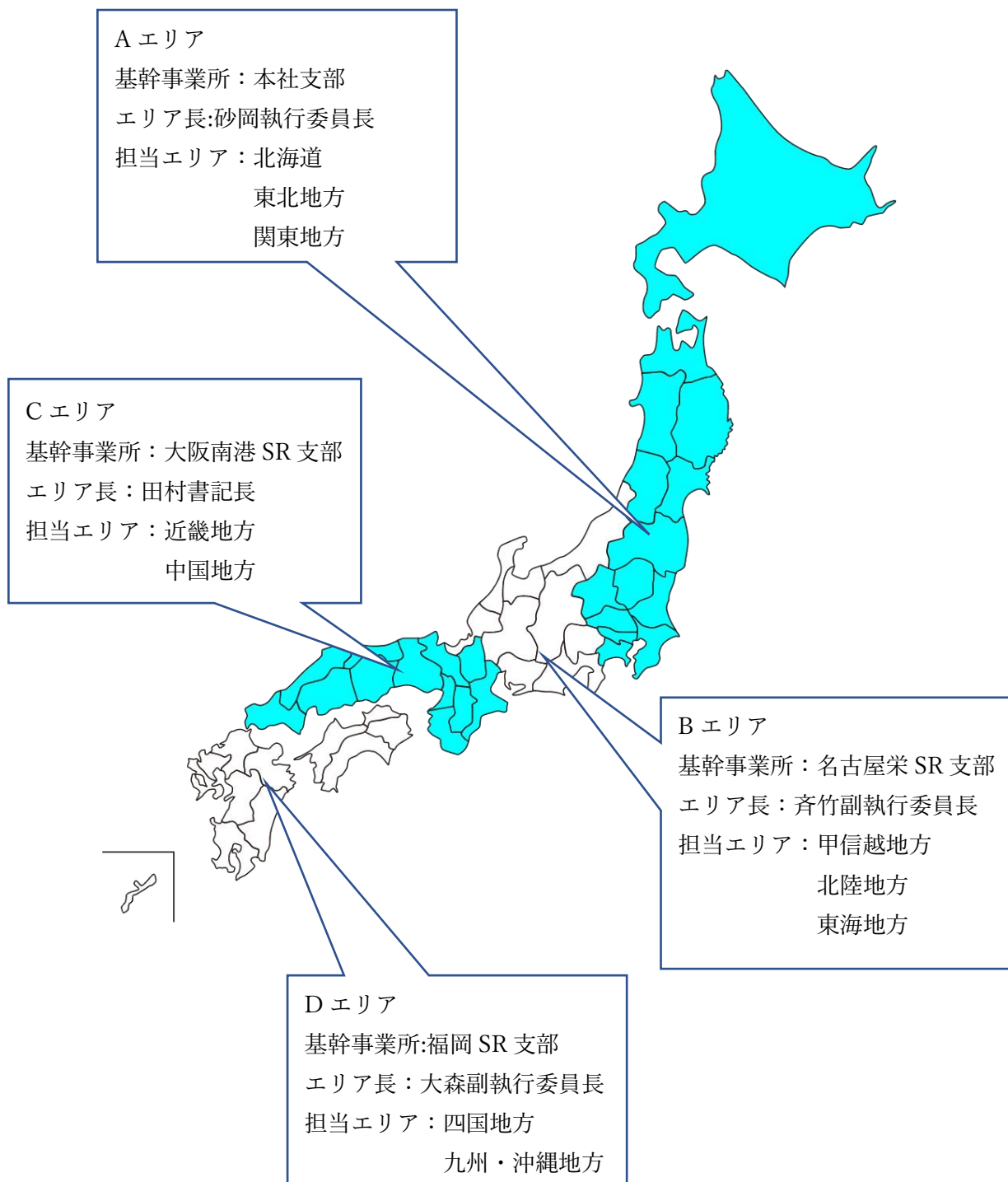
**【第5号議案】**

**会計監査人の委属について**

別紙 『会計監査人の委属について』参照の事

## 大塚家具 IDCユニオン エリア表

※ヤマダデンキの事業所で就業の組合員：各エリア主管支部の在籍  
(各種申請については、ユニオン事務局へ直接行う)

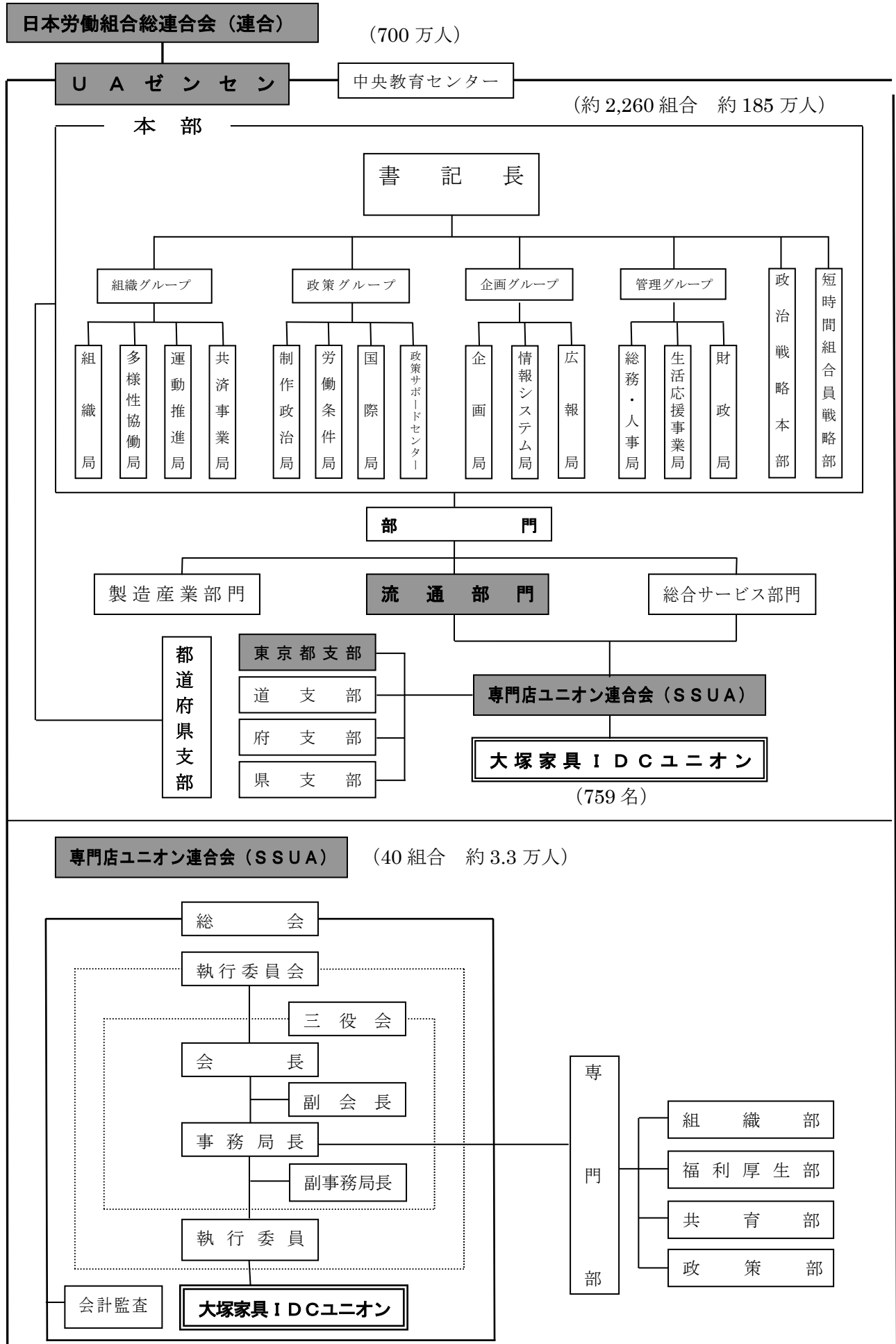


## 専門店ユニオン連合会 加盟組合一覧

<b>メンズ メンズカジュアル</b>	
●銀座山形屋労働組合 【株式会社 銀座山形屋】	●全タカキュー労働組合 【株式会社 タカキュー】
●AOKIグループユニオン 【株式会社 AOKI】	●マックハウスユニオン 【株式会社 マックハウス】
●三峰ユニオン 【株式会社 三峰】	
<b>レディース レディースカジュアル 和装</b>	
●やまと労働組合 【株式会社 やまと】	●スミノユニオン 【株式会社 スミノ】
●三松労働組合 【株式会社 三松】	●ロベリア労働組合 【株式会社 ロベリア】
<b>宝飾 時計</b>	
●As-meエステールユニオン 【As-meエステール 株式会社】	●オールベリテユニオン 【株式会社 ベリテ】
●サトウダイヤモンドユニオン 【株式会社 ヤマノジュエリーシステムズ】	
●ザ・クロックハウスユニオン 【株式会社 クロックワークホールディングス】	
<b>メガネ</b>	
●金鳳堂労働組合 【株式会社 金鳳堂】	●愛眼AGユニオン 【愛眼 株式会社】
●メガネトップ労働組合 【株式会社 メガネトップ】	
●ケリングアイウェアジャパンユニオン 【株式会社 ケリングアイウェアジャパン】	
<b>雑貨</b>	
●パスポートハッピーユニオン 【株式会社 パスポート】	●キャンドウユニオン 【株式会社 キャンドウ】
<b>シューズ バッグ</b>	
●チヨダユニオン 【株式会社 チヨダ】	●エルユニオン 【株式会社 エル】
●東京デリカユニオン 【株式会社 東京デリカ】	
<b>家電 カメラ</b>	
●ギガス労働組合 【株式会社 ギガス】	●ヨドバシカメラユニオン 【ヨドバシカメラ 株式会社】
●キタムラユニオン 【株式会社 キタムラ】	●コイデカメラユニオン 【株式会社 コイデカメラ】
●イエローハットユニオン 【株式会社 イエローハット】	
<b>ファニチャー ホームセンター</b>	
●大塚家具IDCユニオン 【株式会社 大塚家具】	●タカヨシユニオン 【株式会社 タカヨシ】
<b>CD 楽器 書籍</b>	
●新星堂ユニオン 【株式会社 新星堂】	●文真堂書店労働組合 【株式会社 文真堂書店】
●山野楽器ユニオン 【株式会社 山野楽器】	●すみやグッディ労働組合 【すみやグッディ 株式会社】
<b>アウトドア フィッシング サイクリング</b>	
●上州屋労働組合 【株式会社 上州屋】	●ダイヤ通商ユニオン 【ダイヤ通商 株式会社】
<b>フード</b>	
●全京樽労働組合 【株式会社 京樽】	●柿安ユニオン 【株式会社 柿安本店】
<b>カラオケ インターネットカフェ</b>	
●B&Vクルーアライアンス 【株式会社 B&V】	
<b>コスメティック</b>	
●オール・ナリス・ユニオン 【株式会社 ナリス化粧品】	●ハウスオブローゼユニオン 【株式会社 ハウスオブローゼ】

# 上部団体とのつながり

2022年9月現在



第34期 活動スケジュール

2022年度12月度スケジュール				2023年1月度スケジュール				2月度スケジュール			
	IDCユニオン	SSUA	UAZ・部会		IDCユニオン	SSUA	UAZ・部会		IDCユニオン	SSUA	UAZ・部会
1	木			1	日			1	水		
2	金			2	月			2	木		拡大三役会⑤
3	土			3	火			3	金		
4	日			4	水			4	土		
5	月			5	木			5	日		
6	火			6	金			6	月		
7	水	↑ 買戻対策会議 ↓ 執行委員会④		7	土			7	火		
8	木			8	日			8	水	IDC三役会③	
9	金			9	月			9	木		
10	土			10	火			10	金		
11	日			11	水	IDC三役会②		11	土		
12	月			12	木		執行委員会⑤	12	日		
13	火			13	金			13	月		
14	水	IDC三役会①		14	土			14	火		執行委員会⑥
15	木		部会運営委員会②	15	日			15	水	IDC執行委員会③	買戻労務担当者説明会
16	金			16	月			16	木		
17	土			17	火	IDC執行部合宿② ↑		17	金		部会運営委員会③
18	日			18	水		↓	18	土		
19	月			19	木			19	日		
20	火			20	金			20	月		
21	水	IDC執行委員会①		21	土			21	火		
22	木			22	日			22	水		
23	金			23	月			23	木		
24	土			24	火	リーダー育成講座②		24	金		
25	日			25	水	ダイバーシティ委員会②		25	土		
26	月			26	木			26	日		
27	火	拡大三役会④		27	金			27	月		
28	水			28	土			28	火		
29	木			29	日						
30	金			30	月						
31	土			31	火						

12月度	1月度	2月度
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○審判説明会</li> <li>○要求案検討</li> <li>○会計監査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○要求書策定</li> <li>○要求書決定</li> </ul>

買戻Aグループヤマ場

3月度スケジュール				4月度スケジュール				5月度スケジュール			
	IDCユニオン	SSUA	UAZ・部会		IDCユニオン	SSUA	UAZ・部会		IDCユニオン	SSUA	UAZ・部会
1	水			1	土			1	月		
2	木	拡大三役会⑥		2	日			2	火		
3	金			3	月			3	水		
4	土			4	火	↑ 拡大三役会宿 ↓ 拡大三役会⑦		4	木		
5	日			5	水			5	金		
6	月			6	木			6	土		
7	火			7	金			7	日		
8	水	IDC三役会④		8	土			8	月		
9	木			9	日	統一地方選挙		9	火		拡大三役会⑧
10	金			10	月			10	水		
11	土			11	火		部会運営委員会④	11	木		
12	日			12	水		執行委員会⑥	12	金		
13	月		共闘会議	13	木	IDC三役会⑤		13	土		
14	火	執行委員会⑦		14	金			14	日		
15	水	IDC執行委員会④	買戻Aグループヤマ場	15	土			15	月		
16	木			16	日			16	火	IDC三役会⑥	
17	金			17	月			17	水		↑ 拡大合同委員会 ↓ 執行委員会⑨
18	土			18	火	書記長ミーティング③		18	木		
19	日			19	水	第13回フットサル大会		19	金		
20	月			20	木	IDC執行委員会⑤		20	土		
21	火			21	金			21	日		
22	水	買戻Bグループヤマ場		22	土			22	月		
23	木			23	日	統一地方選挙		23	火		第40回野球大会&ソフトボール大会
24	金			24	月			24	水		部会運営委員会⑤
25	土			25	火			25	木	IDC執行委員会⑥	
26	日			26	水	リーダー育成講座③		26	金		
27	月			27	木	ダイバーシティ委員会③		27	土		
28	火			28	金			28	日		
29	水			29	土	中央ミーテ-		29	月		
30	木			30	日			30	火		
31	金	買戻Cグループヤマ場		31	月			31	水		

3月度	4月度	5月度
○資金要綱予定	○会計監査&外部会計監査	○労働環境観点検活動



6月度スケジュール				7月度スケジュール				8月度スケジュール			
	IDCユニオン	SSUA	UAZ・部会		IDCユニオン	SSUA	UAZ・部会		IDCユニオン	SSUA	UAZ・部会
1	木			1	土			1	火		
2	金	拡大三役会⑨		2	日			2	水		
3	土			3	月			3	木		
4	日			4	火			4	金		
5	月			5	水	拡大三役会⑩		5	土		
6	火		全開委員会②	6	木			6	日		
7	水			7	金			7	月	拡大三役会⑪	
8	木			8	土			8	火		
9	金			9	日			9	水	第18回開業前大会&BBQ	
10	土			10	月			10	木		
11	日			11	火			11	金		
12	月			12	水			12	土		
13	火			13	木	IDC三役会⑥		13	日		
14	水	40周年記念式典		14	金			14	月		
15	木			15	土			15	火		
16	金			16	日			16	水	IDC三役会⑨	
17	土			17	月			17	木	ダイバーシティ委員会⑤	
18	日			18	火			18	金	リーダー育成講座⑤	
19	月			19	水			19	土		
20	火	IDC三役会⑦		20	木	執行委員会⑩		20	日		
21	水		部会運営委員会③	21	金			21	月		
22	木	執行委員会⑩		22	土			22	火	執行委員会⑫	
23	金			23	日			23	水	IDC執行委員会⑨	
24	土			24	月			24	木		産業労使フォーラム
25	日			25	火			25	金		
26	月			26	水	IDC執行委員会⑧		26	土		
27	火	リーダー育成講座④		27	木			27	日		
28	水	IDC執行委員会⑦	ダイバーシティ委員会④	28	金			28	月		
29	木			29	土			29	火		
30	金			30	日			30	水		
				31	月			31	木		

6月度	7月度	8月度
	○会計監査	

9月度スケジュール				10月度スケジュール				11月度スケジュール			
	IDCユニオン	SSUA	UAZ・部会		IDCユニオン	SSUA	UAZ・部会		IDCユニオン	SSUA	UAZ・部会
1	金			1	日			1	水		
2	土			2	月			2	木		
3	日			3	火			3	金		
4	月			4	水			4	土		
5	火			5	木			5	日		
6	水	拡大三役会⑩		6	金			6	月		
7	木			7	土			7	火		
8	金			8	日			8	水	IDC三役会⑫	
9	土			9	月			9	木		
10	日			10	火			10	金		
11	月			11	水	IDC三役会⑪		11	土		
12	火	IDC三役会⑩		12	木			12	日		
13	水		UAZ定期大会	13	金			13	月		
14	木			14	土			14	火		
15	金			15	日			15	水	第35回定期総会	
16	土			16	月			16	木		
17	日			17	火			17	金		
18	月			18	水	IDC執行委員会⑩		18	土		
19	火			19	木			19	日		
20	水			20	金			20	月		
21	木			21	土			21	火		
22	金			22	日			22	水		
23	土			23	月			23	木		
24	日			24	火			24	金		
25	月			25	水			25	土		
26	火	第41回定期総会		26	木			26	日		
27	水	IDC執行委員会⑩		27	金			27	月		
28	木			28	土			28	火		
29	金			29	日			29	水		
30	土			30	月			30	木		
				31	火						

9月度	10月度	11月度
○会計決算 ○UAZサンセン定期大会 ○SSUA定期総会	○会計監査&外部会計監査	○大塚家具IDCユニオン定期総会



### **第34回定期総会報告・議案書**

発行日 2022年11月16日

発行者 大塚家具IDCユニオン

〒135-8071

東京都江東区有明3-6-11 T F Tビル東館5階

(株)ヤマダデンキ 大塚家具事業部内

TEL 03-5530-5519 / FAX 03-5530-5536

E-mail [idcunion@nifty.com](mailto:idcunion@nifty.com)

